

W

W

輝け!大分のウーマン!

W
ONDERFUL
WORKING
WOMEN

W



大山 葉子さん
YOKO OYAMA
株式会社サイナス 大分本社
管理本部 管理部長

おおいた女性活躍推進宣言企業

入社した2005年は創業5年目で、女性社員は少なく役職者もいなかった。SEとして官公庁へ常駐していた大山さんの転機は結婚と出産を迎えた時だ。「辞める想像はつきませんでした。続けさせてください」とは言えなくて...そんな時、社長が「制度がないならつくればいよ」と言っただけだったんです」と振り返る。育児復帰後は内勤にシフトし、営業事務やコンプライアンスの知識を磨く。2児の子育てと仕事を両立しながら2016

大切なのは、発想の転換。
大変に思えることも
実はチャンスかもしれません。

多忙な業務や初めての仕事で追い込まれそうになった時のモットーは「発想の転換」。「新しい知識を得るチャンスです。プラスになる経験かもしれない。大変なことも別の視点を見つければいい」と、受け止め方が変わります。若い社員にも、初めての仕事を頭から拒否せずにまずは挑戦して欲しいとエールを送る。



制度がないなら

つくればいい

—— 社長

会社で初めて育児を取得した時に掛けてもらった言葉です。

2~3日いいよ

仕事は任せて

—— 同僚

娘が小さい頃入院した時のこと。信頼関係の大切さを実感しました。



そろそろ

挑戦してみない?

—— 上司

役職の話を軽く言われたので、重く受けとめずに「じゃあチャレンジしてみようかな」と思えました。

遅くなっても気にしないで

—— 家族

忙しい時は残業もあるけど...こんな言葉があるから頑張れます。

わたしを支えた言葉

The words that supported me

頑張ってるから

失敗するんだよ

—— 先輩

頑張らない人は失敗すらない。次はどうすれば成功できるのか、プラス思考になれました。

きつかったら

無理しなくてもいいんだよ

—— 夫

いつも逃げ場を用意してくれるから、気負いなく働き続けられました。

なるようになるから

大丈夫 —— 友人

焦ったり落ち込んでいても状況は変わらない。「楽しみながらポジティブに」を心がけています。

挨拶だけは

きちんとしなさい

—— 両親

新人の時も、挨拶だけは大きかったです(笑)たくさん可愛がられました。



井上 千佳さん
CHIKA INOUE
社会福祉法人
みずほ厚生センター
障害者支援施設 聖心園
生活支援員

令和2年度おおいた女性活躍推進事業者表彰受賞企業

大丈夫、何とかなる。
利用者の気持ちに
寄り添いながら、自分も笑顔に。

祖母と暮らしていたことから福祉の仕事に興味を抱き、2010年に生活支援員として入職。利用者の生活支援のほかハビリなどの健康増進、アロマや音楽を用いて情緒の安定を図るなど、様々な活動を行う。加えて井上さんが企画するのが施設の外での活動だ。「散歩や温泉へ出かけるなど利用者様の楽しみを増やしたいです」と話す。

入職後に結婚し、産休や育児も経験。時短勤務による復帰の中、まわりのサポートを受けながら両立をくすたタイムだ。



井上さんが若い世代へ伝えたいことは、就職前に自分のライフステージを考えて欲しいという思いだ。「若い方は情報収集力もあるので、たくさん未来が拓けるはずですよ」。

